

6年間で目指す学習到達目標

美術の表現及び鑑賞の幅広い活動を通じて、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てるとともに感性を豊かにする。

美術の基礎的な能力を育成するとともに、発展的に視覚リテラシーの向上、美術文化と伝統の理解、美術を通じた国際理解能力の向上、より成熟した情操の育成を目標とする。

学年	前期課程 ※1			後期課程	
	1年	2年	3年	4年 ※2	※3
学習ステージ	基礎・基本の学習		充実伸張の学習		応用達成の学習
履修	観賞(絵画・彫刻) 様々な表現の学習 美術史(総合) 表現(絵画・彫刻) 手のデッサン 身近なものを描く	表現(絵画・彫刻) 自画像 人物クロッキー	表現(デザイン・工芸) ポスター 三角法 表現(絵画・彫刻) 様々な表現の学習 美術史(西洋・日本)	< 素描基礎 表現・鑑賞 > 鉛筆デッサン基礎技術学習 鉛筆によるグラデーション 基本形態のデッサン	< 素描応用 表現・鑑賞 > 美術大学実技試験対応 専攻別デッサン練習
	表現(デザイン・工芸) レタリング基礎 色の仕組み 平面構成 観賞(デザイン・工芸) 作品鑑賞	表現(デザイン・工芸) 色の仕組み 色の表現・技法 平面構成 観賞(デザイン・工芸) 作品鑑賞	観賞(絵画・彫刻) 絵画の制作背景 芸術家の生涯 調べ学習 プレゼンテーションカード 発表学習	< デザイン基礎 表現・鑑賞 > 色彩論 色相環 トーンについて 色の色彩効果を利用したデザイン 配色計画 色のグラデーションを利用した色彩構成	< デザイン応用 表現・観賞 > 目的や用途にあった デザインポスターの制作 デザインする意味
	観賞(絵画・彫刻) 伝統美術の理解 伝統模様 表現(絵画・彫刻) 屏風をつくる 様々な素材	観賞(デザイン・工芸) 視点による表現 生活の中のデザイン 表現(絵画・彫刻) アニメーション キャラクター	観賞(絵画・彫刻) 調べ学習 絵巻物 表現(絵画・彫刻) 水墨画の基本技法 作品制作	< 彫刻基礎 表現・鑑賞 > 彫像と塑像の特徴と制作工程 立体表現の魅力 自然物の模刻	< 絵画・彫刻 基礎応用 > 制作計画展示方法の工夫 作品のファーリング
	表現(デザイン・工芸) 素材の特徴理解 金属 加工 観賞(デザイン・工芸) レリーフ作品の鑑賞 作品展示	表現(デザイン・工芸) 素材の加工技術理解 布・印 加工 観賞(デザイン・工芸) 透視図法 作品展示	表現(デザイン・工芸) 素材の加工技術理解 木材・漆 加工 観賞(デザイン・工芸) アートカード 作品展示	< 絵画・彫刻・デザイン 表現・鑑賞 > 木製のおもちゃの制作	< 自主課題研究 > 大学受験対策 出題傾向と対策研究
	※1 1年では美術1を年間52.5時間学習。 2年3年を通じて美術2・3上下を各35時間学習。		※2 4年での美術選択は美術 I (2単位)。 4年の芸術は必履修選択。		※3 応用達成の学習は希望者に対応。
特記事項					